

淡江大學 106 學年度第 2 學期課程教學計畫表

課程名稱	日本安全保障制度 (二)	授課 教師	胡慶山 HU CHING-SHAN
	JAPAN'S SECURITY SYSTEM (II)		
開課系級	亞洲一碩專班 A	開課 資料	選修 單學期 2學分
	TIIXJ1A		
系 (所) 教育目標			
培育國內外通曉日本政經之高級實務與學術人才，並導引師生致力於日台法政與經貿關係之發展，協助促進國家安全與發展。			
系 (所) 核心能力			
A. 通過英檢中級初試或日檢二級。			
課程簡介	日本的安全保障與台灣的安全保障息息相關，此課程鑒於上述的重要性將研究日本的安全保障上的各項問題。		
	Japan's security is closely related with the security of Taiwan, given the importance of this, the course will examine these issues on the security of Japan.		

本課程教學目標與目標層級、系(所)核心能力相關性

一、目標層級(選填)：

- (一)「認知」(Cognitive 簡稱C)領域：C1 記憶、C2 瞭解、C3 應用、C4 分析、C5 評鑑、C6 創造
- (二)「技能」(Psychomotor 簡稱P)領域：P1 模仿、P2 機械反應、P3 獨立操作、P4 聯結操作、P5 自動化、P6 創作
- (三)「情意」(Affective 簡稱A)領域：A1 接受、A2 反應、A3 重視、A4 組織、A5 內化、A6 實踐

二、教學目標與「目標層級」、「系(所)核心能力」之相關性：

- (一)請先將課程教學目標分別對應前述之「認知」、「技能」與「情意」的各目標層級，惟單項教學目標僅能對應C、P、A其中一項。
- (二)若對應「目標層級」有1~6之多項時，僅填列最高層級即可(例如：認知「目標層級」對應為C3、C5、C6項時，只需填列C6即可，技能與情意目標層級亦同)。
- (三)再依據所訂各項教學目標分別對應其「系(所)核心能力」。單項教學目標若對應「系(所)核心能力」有多項時，則可填列多項「系(所)核心能力」。(例如：「系(所)核心能力」可對應A、AD、BEF時，則均填列。)

序號	教學目標(中文)	教學目標(英文)	相關性	
			目標層級	系(所)核心能力
1	日本的安全保障與台灣的安全保障息息相關，此課程鑒於上述的重要性將研究日本的安全保障上的各項問題。	Japan's security is closely related with the security of Taiwan, given the importance of this, the course will examine these issues on the security of Japan.	C6	A

教學目標之教學方法與評量方法

序號	教學目標	教學方法	評量方法
1	日本的安全保障與台灣的安全保障息息相關，此課程鑒於上述的重要性將研究日本的安全保障上的各項問題。	講述、討論、問題解決	報告、上課表現

本課程之設計與教學已融入本校校級基本素養

淡江大學校級基本素養	內涵說明
◆ 全球視野	培養認識國際社會變遷的能力，以更寬廣的視野了解全球化的發展。
◆ 資訊運用	熟悉資訊科技的發展與使用，並能收集、分析和妥適運用資訊。
◆ 洞悉未來	瞭解自我發展、社會脈動和科技發展，以期具備建構未來願景的能力。
◆ 品德倫理	了解為人處事之道，實踐同理心和關懷萬物，反省道德原則的建構並解決道德爭議的難題。
◆ 獨立思考	鼓勵主動觀察和發掘問題，並培養邏輯推理與批判的思考能力。
◆ 樂活健康	注重身心靈和環境的和諧，建立正向健康的生活型態。
◆ 團隊合作	體察人我差異和增進溝通方法，培養資源整合與互相合作共同學習解決問題的能力。
◆ 美學涵養	培養對美的事物之易感性，提升美學鑑賞、表達及創作能力。

授課進度表

週次	日期起訖	內容 (Subject/Topics)	備註
1	107/02/26~ 107/03/04	安全保障的概念(2016年日本の防衛と予算 - 平成28年度予算の概要 -)	
2	107/03/05~ 107/03/11	戰爭與和平的理論(2015年日本防衛と予算)	
3	107/03/12~ 107/03/18	國際安全保障體制論(日本中期防衛力整備計畫 (2014年平成26年度~2018年平成30年度) について)	
4	107/03/19~ 107/03/25	安全保障與power(2015年日本と東アジア戰略概観)	
5	107/03/26~ 107/04/01	核與安全保障(2015年日本防衛白書)	
6	107/04/02~ 107/04/08	政軍關係論civilian control(2015年中国安全保障報告書)	
7	107/04/09~ 107/04/15	現代爭端管理(2013年日本内閣官房長官談話および中国の2014年度国防予算について)	
8	107/04/16~ 107/04/22	安全保障的非軍事面(2015年日本新安保法制)	
9	107/04/23~ 107/04/29	非傳統安全與安全保障(2015年日本武器輸出三原則到防衛裝備移轉三原則)	
10	107/04/30~ 107/05/06	聯合國與安全保障(2015年日本平成27年度上半期の緊急発進実施状況について)	
11	107/05/07~ 107/05/13	國際法與安全保障(2015年南シナ海における中国の活動)	

12	107/05/14~ 107/05/20	後九一の安全保障(2014年日本平成26年度以降に係る防衛計画の大綱について)	
13	107/05/21~ 107/05/27	戦後日本の安全保障政策(2016年平成28年日本中谷防衛大臣 年頭の辞)	
14	107/05/28~ 107/06/03	日本防衛計画大綱(2014年日本防衛計画の大綱・中期防衛力整備計画 パンフレット)	
15	107/06/04~ 107/06/10	日本安全保障政策原則(2013年日本平成25年国家安全保障戦略について)	
16	107/06/11~ 107/06/17	日本安全保障関連法制(日本防衛力の在り方検討に関する中間報告について)	
17	107/06/18~ 107/06/24	日美同盟(2014年「4年毎の国防計画の見直し」(QDR))	
18	107/06/25~ 107/07/01	日本の集約自衛権(2015年日本憲法與集約自衛権行使新三要件および大規模演習「ヴォストーク2014」について)	
修課應 注意事項	上課認真負責、報告認真準備、能獨立思考		
教學設備	電腦、投影機		
教材課本	胡慶山著、当代國際法戰略關係下的台灣問題(稻鄉出版社、2015年) 安全保障学入門新訂第四版/防衛大学校安全保障学研究会編著、武田康裕+神谷 万丈責任編集、亜紀書房、2011		

<p>參考書籍</p>	<p>森本敏の眼：†b 日本の防衛と安全保障政策 / †c 森本敏著東京：クラフ社，平成 17 [2005] オスプレイの謎. その真実 / 森本敏著.東京：海竜社，2013.8. 日本の瀬戸際：東アジア最大の危機に日本は生き残れるか / 森本敏著東京：実業之日本社，2011. 漂流する日米同盟：民主党政権下における日米関係 / 森本敏監修.東京：海竜社，2010. 安全保障論：21世紀世界の危機管理 / 森本敏.東京：PHP研究所，c2000. 日本防衛再考論：自分の国を守るとのこと = Reconsideration on Japan's defense policy / 森本敏著東京：海竜社，2008 岐路に立つ日本の安全：安全保障・危機管理政策の実際と展望 / 監修森本敏.東京：北星堂書店，2008. ミサイル防衛：新しい国際安全保障の構図 / 森本敏編.東京：日本国際問題研究所，2002 イラク戦争と自衛隊派遣 / 森本敏編東京都：東洋経済新報社，2004 早わかり国民保護法 / 森本敏,浜谷英博著東京：PHP研究所，2005 安全保障学入門新訂第四版/防衛大学校安全保障学研究会編著、武田康裕 + 神谷万丈責任編集、亜紀書房、2011 安全保障政策/ 山本武彦、日本経済評論社、2009 地政学と国際戦略、新しい安全保障の枠組みに向けて/ 浦野起央、三和書籍、2006 日本の安全保障と防衛政策/ 谷内正太郎編、ウエッジ、2013 教科書・日本の安全保障/ 田村重信、杉之尾宜生編著、芙蓉書房、2004 日本の安全保障政策/ 西川吉光著、晃洋書房、2008 教科書・日本の防衛政策/ 田村重信、佐藤正久編著、2008 日本防衛再考論/ 森本敏著、海竜社、2008 日本の再軍備への道/ 柴山太著、ミネルヴァ書房、2010 対立深まる南シナ海進む日米越比協力・年報アジアの安全保障2015-2016/ 平和・安全保障研究所編集、西原正監修、朝雲新聞社、2016 再起する日本・緊張たかまる東・南シナ海・年報アジアの安全保障2014-2015/ 平和・安全保障研究所編集、西原正監修、朝雲新聞社、2015 混迷の日米中韓 緊迫の尖閣、南シナ海・年報アジアの安全保障2013-2014/ 平和・安全保障研究所編集、西原正監修、朝雲新聞社、2014 アジアの安全保障2011-2012/ 平和・安全保障研究所編集、西原正監修、朝雲新聞社、2012 民主化後の台湾 その外交、国家観、ナショナリズム/ 河原昌一郎著、彩流社、2016 東アジアの火薬庫中台関係と日本/ 山本勲、丸山勝著、藤原書店、2001 安倍政権と安保体制/ 田村重信著、内外出版、2015 検証安保法案/ 長谷部恭男、有斐閣、2015</p>
<p>批改作業 篇數</p>	<p>篇（本欄位僅適用於所授課程需批改作業之課程教師填寫）</p>
<p>學期成績 計算方式</p>	<p>◆出席率： 70.0 % ◆平時評量：10.0 % ◆期中評量：10.0 % ◆期末評量：10.0 % ◆其他〈 〉： %</p>
<p>備考</p>	<p>「教學計畫表管理系統」網址：http://info.ais.tku.edu.tw/csp 或由教務處首頁〈網址：http://www.acad.tku.edu.tw/CS/main.php〉業務連結「教師教學計畫表上傳下載」進入。 ※不法影印是違法的行為。請使用正版教科書，勿不法影印他人著作，以免觸法。</p>